



武田 孝 農業部門（農業土木） 勤務先：株式会社 ルーラルエンジニア

私が勤務する(株)ルーラルエンジニアは、農業土木の建設コンサルタントで主に、農業土木に関する事業の調査、研究、計画、設計、施工管理等の業務を行っています。

私は、米どころ空知の滝川市の出身でこの農業土木に携わってから、はや34年以上が経過いたしました。私が入社した頃は、地域の圃場整備事業の全盛期であったこともあり、現況水田の高さや用排水路の測量を行い圃場区画整理のため、現況・計画平面図等を作成し、日夜土積計算などを行っていたものでした。

当時は、図面をみながら大きい水田になるな～と思っていましたが、最近では経営体育成事業などによって水田圃場の大区画化、用水路の管水路（パイプライン）化、環境に配慮した排水路の設計など再整備が行われており、環境問題などを含め、時代の変化とともに体力的な「年齢（トシ）」を感じているこの頃であります。

私の所属している技術部門では、主に用排水路、農地整備、畑地かんがい、農業水利施設等に関する調査・計画・設計業務を行い、私は現在、用排水路及び魚道工の整備や環境に配慮した水路等の調査・計画・設計を行うとともにこれらに関する業務の工程や進捗状況の管理及び業務処理上での技術指導などを行っています。

私の勤務する深川は「道北技術士協議会」の管内で技術の研鑽に向け研修会等に出席しています。この協議会も発足当時は6～7名程度でしたが、現在では若い技術者を含め、会員も70名程度と年々増加し技術士に関する関心が高まっています。私は、今後も農業部門の技術士として専門分野における社会貢献を図っていききたいと思っています。



次号は、鈴木孝善さん（建設部門）



吉田 卓史 上下水道部門（下水道計画）

勤務先：株式会社ドーコン 都市環境部

TEL(011)801-1535 FAX(011)801-1536 E-mail: takuji_yoshida@docon.jp

私は2001年(平成13年)、21世紀の幕開けとともに技術士の仲間入りを果たしました。1969年(昭和44年)北海道札幌に生まれ現在北海道札幌の会社に所属しております。建設業界は冬を迎えております。冬の後には春がくるかと待ちわびていますが、風雪さらに強くなり天候の悪さを米国フロリダハリケーンの表現で言えばカテゴリー5の様相ですね。皆様におかれましては今じっと耐え、どのような力を蓄えている最中ですか？

最近、自分の仕事とは何かについて考えることがあります。きっと下水道の仕事をやっているというのが正解の1つでしょうが、もっと細分化した仕事の履歴で分析してみると、結局、何か課題があって、それを解決する手段を提供しているという結論に達しました。社会活動が継続する限り課題が生まれ、経済的効率的解決が望まれ、社会貢献をしたい思いがあれば仕事は減らない。その行動に価値があれば対価が生じることも変わらないと思っています。(対価の回収方法は今後工夫が必要かもしれませんが....)

わたしは機会があって、下水道事業の他、河川環境事業の仕事もしております。自分の能力に限界を設けず、まずは『水つながり』の技術方面へ自分の領域をひろげ、自分の基本的な能力＝課題解決力を信じ、これからも社会貢献していきたいと思っています。

それではまたの機会までさようなら。



次号は、大橋和政さん（農業部門）